

# YOUTH MANNA

Grace Community  
2024  
**Be**

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。  
使徒の働き 2章42節

2025/2/17(月)

## レビ記 9章

●アロンは、罪のきよめのささげ物、全焼のささげ物、交わりのいけにえをどのようにささげたかな？ (10、16、21)

●モーセは、アロンに礼拝のやり方を伝え、最後に“それは、今日、主があなたがたに現れるからである”と、礼拝の手順がある理由を伝えた (1-4)。アロンが主が命じられた通りにささげた結果はどうなっただろうか？ (23)

✨私たちが、毎週の礼拝で「主が命じられた通りにささげられること」ってあるかな？

✨昨日（おととい）の礼拝で受け取ったことを、礼拝の動画をもう一度見たり、メモを振り返りながら思い出そう。

2025/2/18(火)

## レビ記 10章

●前の章で素晴らしい礼拝がささげられたけれど、ここで大変な事件が起こる。アロンの息子たちが犯した罪は何だろう？

●彼らはなぜ自分勝手な礼拝をささげたと思う？それは神様のため？それとも、、、？

●アロンに対して神様は直接語ってくださった(8-10)。そして残された二人の息子たちは引き続き祭司としての任を果たしたよ。彼らは兄弟の死を痛んで全うすることはできなかったけれど、モーセはアロンのことばを聞いて、それで良しとしたよ。神様は私たちの心を知っていてくださる。その上で、任されたものに忠実であるとはどのようなことかを考えてみよう！

2025/2/19(水)

## レビ記 11:1-23

ここには神の民として食べて良い物、悪い物が書かれています。神の民は偶像の儀式によく使われるような動物や不衛生なものなど清くないものは食べず、神様への生贄として献げられる清いものを口にしました。

新約時代の私たちはこれを文字通りに守る必要はないけれど、食べるにしても飲むにしても生活の全てを通して神様を感じ、汚れたものを避け、神様に従う、その生き方を見習っていきましょう。

- ・今日神の民として生きれますように。
- ・今日すべきことを教えてください。

2025/2/20(木)

## レビ記 11:24-47

今日の箇所は性的な部分を語っているね。性的なことは生きている間しか起きない事で、神様のいる天では起こらないんだ。だからこの『汚れ』というのは天と地では大きな違いがあるということなんだ。イエス様はとってもきよい方だったけど、それは神様によって与えられてからでもあるんだ。

私たちクリスチャンは人間であるから『汚れ』からは逃れられないけれど、神様がきよさを与えてくださるんだ。

神様がきよいものであるとされることに感謝して、祈ろう。

2025/2/21(金)

## レビ記 12章

●7vを読もう。12章が何についてのおしえだと書かれてあるかな？

●男と女がいて、出産になる。だから出産の教えは女性だけのためではなく男性も覚えるべきことなんだ。7vには産後、祭司は「なだめ」を行うって書いているね。出産は神様からの祝福であると同時に、出産の苦しみが罪の結果であることを思い出し、神様を求めるときでもあったんだ。

●出産の教えから性について考える機会にしよう。君の周りには、付き合うことや性についてどんな考え方をしているかな？卑猥な冗談にしたり隠す風潮ある？きみはどう思う？何がイエス様が喜ぶことだろうか？

2025/2/22(土)

## レビ記 13:1-28

この箇所では『ツアラアト』という病気について書かれていて、「なんのこと？」と難しく思う人もいたんじゃないかな？

旧約聖書の時代、イスラエルでとても恐れられていたのがこの『ツアラアト』という皮膚に起こることが多い病気だった。体に広がってしまうものだったから、実際に隔離する必要があった。そして『きよさ』『汚れ』に対して真剣に考えるからこそ、細かくどうしたらよいか書かれているのかもしれない。

でも、もちろん汚れているから病気になるのでも、病気になったから汚れているわけではないよね。神様にあって『きよく』いるってどういうことなんだろう？考えてみよう！

2025/2/23(日)

## レビ記 13:29-59

ツアラアトは火傷・疥癬・湿疹と区別され、診断は祭司の役目だった。感染を防ぐため、患った者は宿営の外で暮らした。衣服や革にもツアラアトが現れ、単なるハンセン病ではないことが示される。ツアラアトは「広がり手に負えない」点で罪に似ており、人を神から遠ざける。だが、大祭司であるイエス様は罪を癒やす力を持つ。罪を自覚したなら、神様に立ち返り、救いを求めよう。

感謝：主にある癒やしに感謝します